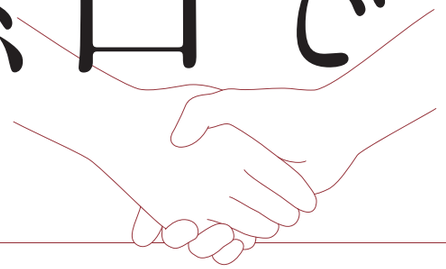
「知」を「地」へ
つなげる。

地域連携推進室

学校法人 鶴学園
広島工業大学

「地域連携推進室」は、
大学と地域をつなぐ、
「知」の窓口です。



広島工業大学は、地域貢献や社会貢献は
大学の大きな使命と考え、研究支援活動、産学官連携活動および
地域貢献活動の総合窓口として地域連携推進室を設置しています。
本学の教育研究活動と企業・地域の皆さまをつなぎ、
地域社会の発展に貢献できるよう、
さまざまな事業に取り組んでいます。

総合窓口

地域連携推進室

大学の「知」を民間企業に活かす。

産学連携 ⇨P.3

本学の研究成果と企業の技術を融合させ、
新技術や新事業を創出します。



- 相談窓口 産学連携推進センター
- 共同研究機構
  - 共同研究 プロジェクト研究センター
  - 研究機器・設備 共同利用実験センター

大学と地域の交流で豊かなまちづくり。

地域連携 ⇨P.7

地域の課題解決や地域づくりに取り組み、
地域の活性化を行います。



- 連携実績 広島市佐伯区役所との地域連携協力に関する協定
- 連携実績 廿日市市との包括的連携協力に関する協定

大学の知識や研究成果を、学び続ける人々へ。

生涯学習 ⇨P.9

本学が持つ知識や研究成果を
地域へ還元しています。



- イベント実績 ワクワクものづくり大作戦
- イベント実績 公開講座
- イベント実績 公開シンポジウム
- イベント実績 シティカレッジ

生徒・教員へ学びの場を提供。

高大連携 ⇨P.11

本学を知ってもらうための
さまざまな情報公開を行っています。

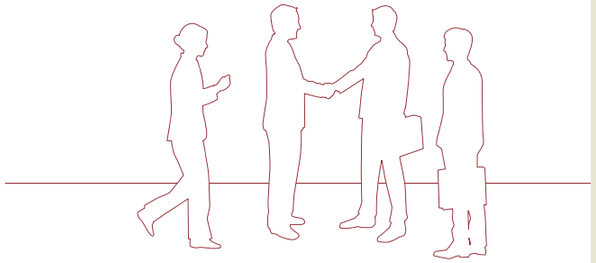


- 連携実績 高大連携
- 連携実績 中大連携
- 連携実績 教員連携

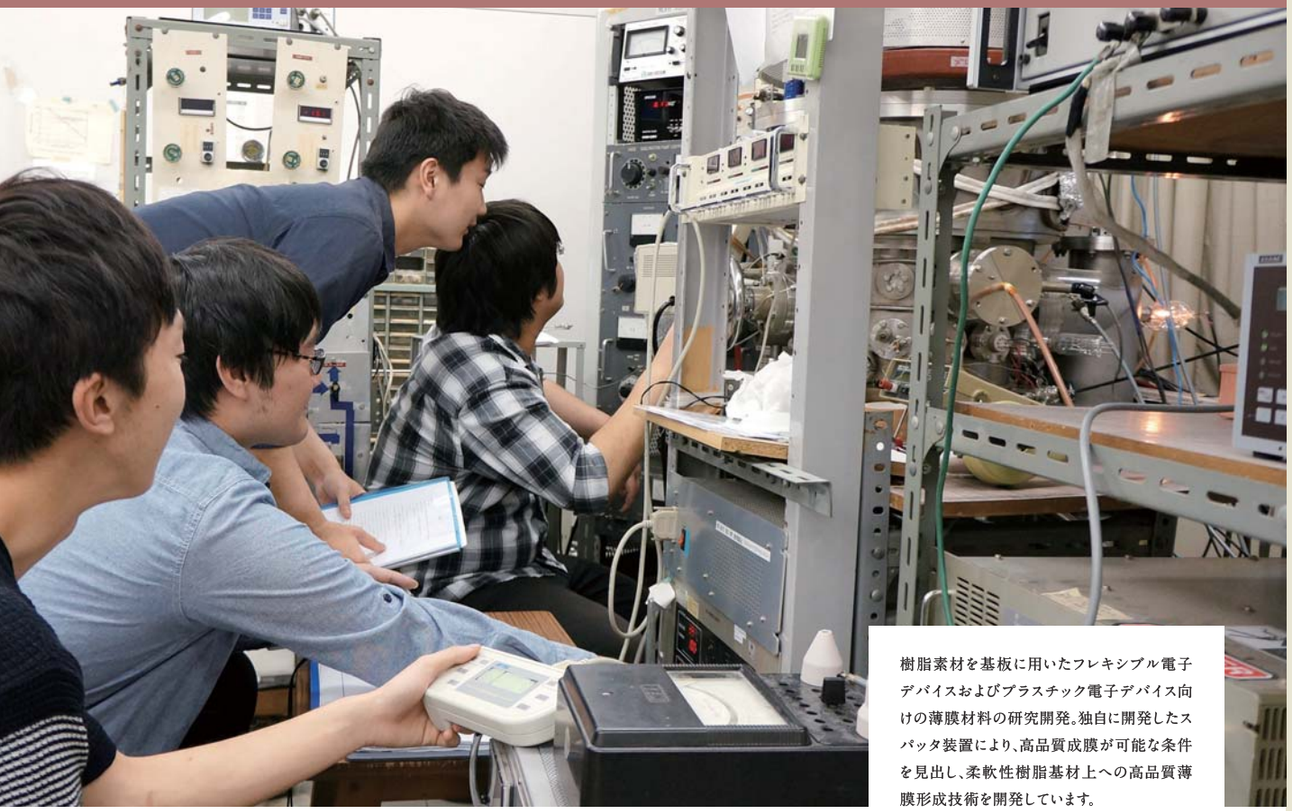
大学の「知」を民間企業に活かす。

産学連携

産学連携とは民間企業と大学等の教育機関・研究機関が互いに協力・連携し、「産」「学」それぞれが持つ研究成果と技術を融合させることです。新技術や新事業の開発、創出のためには基礎的な研究開発や画期的なアイデアが必要とされるため、産学連携はますます大きな役割を担っています。大学は社会全体の「知」の源泉として重要な役割を担っており、大学の研究成果等を活かすための国家的な期待・要請が高まっています。



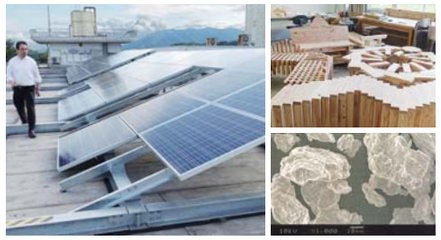
大学の「知」と企業の「技術」のタッグで、より新しく質の高い技術・モノ・サービスを創りだす。



樹脂素材を基板に用いたフレキシブル電子デバイスおよびプラスチック電子デバイス向けの薄膜材料の研究開発。独自に開発したスパッタ装置により、高品質成膜が可能な条件を見出し、柔軟性樹脂基材上への高品質薄膜形成技術を開発しています。

共同研究機構

広島工業大学では産学連携、プロジェクト研究や外部機関との共同研究の支援を図ることを目的とし、「産学連携推進センター」「プロジェクト研究センター」「共同利用実験センター」からなる共同研究機構を設置しています。本学の研究成果を広く社会に発信し、産官学連携を推進することで社会貢献を行います。



相談窓口

産学連携推進センター

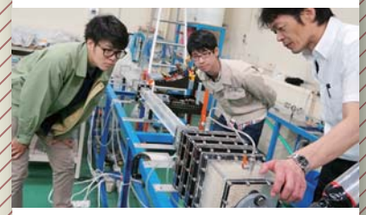
民間企業や公共団体など
外部組織からの
技術相談に対応します。



共同研究

プロジェクト研究センター

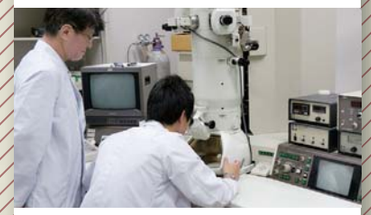
新しい成果や
サービスなどを創出する
研究プロジェクトを行います。



研究機器・設備

共同利用実験センター

本学との共同研究・
委託研究を行う場合に
ご利用いただける施設です。



各センターについては、次ページで詳しくご紹介しています。

相談窓口

産学連携推進センター





産学連携推進センターは民間企業や公共団体など外部組織からの技術相談に対応する組織です。産学連携コーディネータが相談内容を伺い、研究者の紹介、研究条件等の調整、共同研究や委託研究の取りまとめを行います。本学は共同研究・委託研究の取り組みを積極的に行っており、これらの取り組みを通して企業等への技術支援や技術移転を行っています。

●対象	企業・外部組織
●費用	産学連携コーディネータへの相談費用無料
●問い合わせ先	地域連携推進室

産業振興のため、さまざまな形で連携を行っています。

委託研究

学外機関から委託された特定のテーマについて本学の教員が研究を行い、その研究成果を委託者に報告をします。民間企業からの委託のほか、総務省総合通信基盤局、国土交通省中国地方整備局、広島循環型社会推進機構、中国地域創造研究センターなど国、自治体、各種法人から委託研究を受け入れています。



●実績件数	委託研究件数 210件 ／過去10年間

共同研究

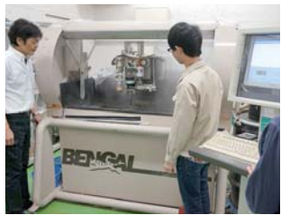
学外機関と本学が共同で研究を行います。民間企業への技術移転や人材育成を積極的に推進し、さらに新しい事業の創出を支援します。共同研究相手先の全体の約半数は広島県内企業（支店・工場含む）で、本学は共同研究を通じて地元企業を支援しています。



●実績件数	共同研究件数 215件 ／過去10年間

奨学寄附金

奨学寄附金は、企業など学外機関が本学の教育研究を奨励することを目的とする制度です。奨学寄附金は本学にて機関管理され、教育の充実・発展や学術研究に活用されており、本学の研究活動に重要な役割を果たしています。奨学寄附金には税制上の優遇措置があります。



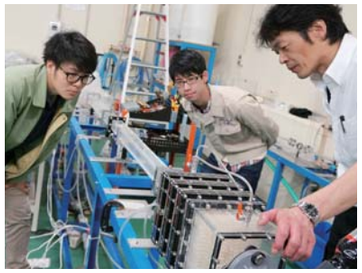
技術教育

出張講義や共同研究等を通じて、本学の技術や知的資源を民間企業の研究者に移転し、民間企業の抱える課題解決の協力と次世代技術者の育成を行います。一般の皆さまに対しては公開講座、公開シンポジウム、シティカレッジなどで本学の研究や教育内容を紹介しています。



共同研究

プロジェクト研究センター



学内外の研究者で組織する大型のプロジェクト研究など、総合力を生かし、複数学科さらには学外組織にまたがるような共同研究プロジェクトを行います。多様な研究者の研究成果やアイデアを基にして、画期的な成果やサービスの創出を目指します。

●対象	企業・外部組織
●費用	相談費用無料
●問い合わせ先	地域連携推進室

※「プロジェクト研究センター」について、詳しくは別冊パンフレット「知の商店街」でご紹介しています。

全16研究センター。幅広い分野の研究を行っています。

センターの一例ご紹介

●建築分野における木材利用研究センター

センター長：番匠谷 薫／環境学部：建築デザイン学科

本格的な県産材木利用の促進が期待される中、いまだ十分とは言えない地域材の循環型利用を可能とする社会システムの構築と、それらシステムを動かす人材育成を促進するための研究に取り組んでいます。



●発酵ものづくり研究センター

センター長：角川 幸治／生命学部：食品生命科学科

発酵食品だけでなく医薬品製造など多くの産業領域で利用されてきた自然界の有用微生物を分離し、本学独自の微生物コレクションを構築すること、そして取得した微生物の産業利用を目指します。



●健康増進医科学研究センター

センター長：西村 一樹／環境学部：地球環境学科

大学生の生活習慣確立のための実践的取組、中高齢者に対する「健康づくり教室」の開催、運動時の生理応答に着目した実験的研究および効果的な運動処方に関する研究を通して健康増進に関する知見の公表を行います。



●高度地球環境情報研究センター

センター長：菅 雄三／環境学部：地球環境学科

地球観測衛星技術による時空間画像情報の生成・蓄積・検索・分析システムの開発を行い、そこから防災・減災ならびに環境保全のための包括的な危機管理システムを研究開発することで、安全で快適な国民生活のために貢献します。

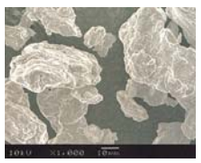


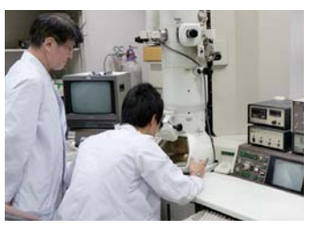
その他の研究センター（2018年2月1日現在）

●自然災害減災情報システム研究センター ●ビジネス情報システム研究センター ●物性物理学研究センター ●機能性食品研究センター
●極端気象災害対策研究センター ●地域保全まちづくり研究センター ●データサイエンス研究センター ●ＬＥＤ照明技術教育研究センター
●生体情報・計測研究センター ●次世代海洋環境エネルギー技術研究センター ●機械表面機能・界面工学研究センター ●知的情報可視化研究センター

研究機器・設備

共同利用実験センター





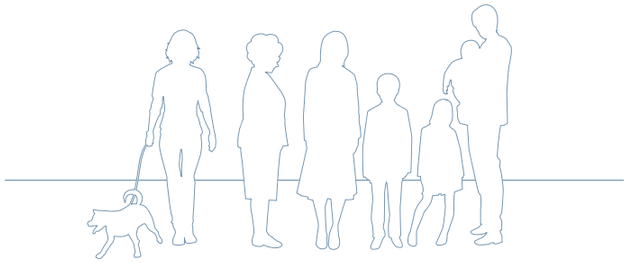
共同利用実験センターには研究や開発に利用できる研究機器・設備が登録されています。本学と共同研究・委託研究を行う場合、これらの登録されている研究機器・設備の利用が可能です。

●対象	本学と共同研究・委託研究を行う組織
●費用	要相談
●問い合わせ先	地域連携推進室

大学と地域の交流で豊かなまちづくり。

地域連携

広島工業大学が地域社会との連携·交流を行い、地域の住民と一緒に地域の課題解決や地域づくりに取り組みます。地域の活性化、地域で活躍できる人材を育成するなどの地域貢献活動を行います。



大学は地域のシンボルのひとつ。
住民と連携し、より楽しく元気なまちをつくる。



花と緑がいっぱいの、魅力溢れる佐伯区実現に向け、佐伯区まちづくり百人委員会花部会「はなみどり」のメンバーといっしょに、本学建築デザイン学科の教員が樽鉢に花や木の土づくりや植え付けを行いました。

地域と協力し合い、さまざまなイベントを行っています。

連携実績

広島市 佐伯区役所との 地域連携協力に 関する協定

本学と広島市佐伯区役所が2009年12月18日に包括的連携を結び、本学と地域、互いの人材·知識·情報等の資源を活用することにより、地域の発展と人材の育成に取り組んでいます。

●問い合わせ先　地域連携推進室

連携の一例

佐伯区民まつり

地域のコミュニティづくりと明るく住みよいまちづくりを目指し「みんなでつくろう ふれあいまつり」に寄与することを目的に「佐伯区民まつり」に参加しています。

●実施年　2010年～



はなみどり

人に愛される花と木を植栽し、佐伯区が持つ自然の魅力と中心市街地の魅力をコラボレーションしています。区民が誇りを持って住み続けたいと思えるまちづくりと、多くの来街者を招き込む魅力づくりを実現するために活動しています。

●実施年　2013年～



元気ベンチプロジェクト

坂道の多い団地(彩が丘)からの依頼により、買い物や散歩の途中に休憩できるベンチを地元の小学生と協力して作成しました。

●実施年　2015年



連携実績

廿日市市との 包括的連携協力に 関する協定

本学と廿日市市が2012年11月9日に包括的連携を結び、まちづくりにおける地域の抱える諸問題の解決を目指します。本学は教育面の向上を目的としてサポートし、大学と地域それぞれの持つ資源を活用できるよう協力しています。

●問い合わせ先　地域連携推進室

連携の一例

宮島·土曜講座

歴史的市街地である宮島における観光学研究を核に「まちづくり」「観光」「空間」「歴史」「行動」に関する講座を行っています。

●実施年	2010年～(6～12月／月1回)
●実施回数	66回
●実施場所	広島工業大学地域環境宮島学習センター(宮島こもん)
●参加人数	延べ1,000人以上
●対象	一般
●費用	参加費無料
●問い合わせ先	地域連携推進室



オープンこもん

まちづくりをテーマとした情報提供や情報交換をオープンゼミ(発表者、討論者自由参加形式のゼミ)を行っています。

●実施年	2013年～(6～12月／月1回)
●実施場所	広島工業大学地域環境宮島学習センター(宮島こもん)
●対象	一般
●費用	参加費無料
●問い合わせ先	地域連携推進室



研究室訪問

地元事業者に本学(研究室)を訪問していただき、研究内容の説明、研究スタッフとの意見交換を通じて、本学と協力関係を構築。新商品開発のノウハウの習得や企業スキルの向上、企業間の連携·ネットワークづくりを目的として実施しています。

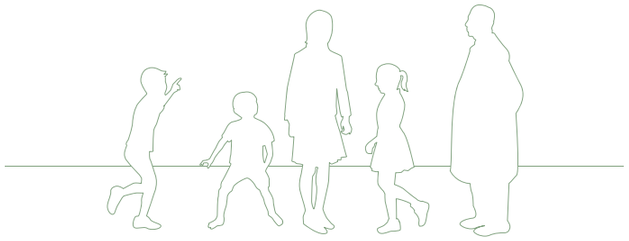
●参加費用	無料
●問い合わせ先	地域連携推進室



大学の知識や研究成果を、学び続ける人々へ。

生涯学習

生涯学習とは、人々が生涯にわたり、主体的に続ける学習活動のことです。広島工業大学では、地域の皆さまに本学が持つ知識や研究成果を貢献、還元することを生涯教育の一環として、さまざまな機会を設けています。



知識や教育はすべての人の財産。
心豊かな人生のために、大学ができることを。



本学の教員や学生に教わったり手伝ってもらったりしながら工作をする「ワクワクものづくり大作戦」。普段の生活では見られない工具を使う講座もあり、お子様だけでなく、保護者の方も真剣に取り組んでいただいています。

子どもから高齢者まで、学びたい人たちと最新の知識を共有しています。

イベント実績

ワクワクものづくり大作戦

学生に教えてもらうことで、ものづくりの楽しさと面白さを実感してもらい、ものづくりに興味を持つきっかけとなることを目指した、小学生対象の夏休み工作イベントです。毎年たくさんのご応募をいただき、講座によっては10倍の競争率になることもあります。

●実施年	2005年～
●実施回数	13回（年1回）
●対象	小学生（全15講座 定員各20名）
●費用	参加費300円
●問い合わせ先	地域連携推進室





公開講座

本学で行っている研究や教育を、広く一般の皆さまに紹介する機会として、毎年テーマを変え6講座実施しています。幅広い方々の、知識を広げ理解を深めたいというニーズにお応えできるよう、本学教員がわかりやすく解説します。

●実施年	1988年～
●実施回数	30回（年1回）
●対象	高校生以上の一般の方
●費用	参加費無料
●問い合わせ先	地域連携推進室





公開シンポジウム

最新の科学技術や日常の身近な問題について、毎回各テーマに見識の深い方々をお招きし、本学教員とともに、講演とパネルディスカッションを行います。「科学技術と日常生活との対話」という視点から、わかりやすく解説し、理解を深めます。

●実施年	1996年～
●実施回数	31回（年1回）
●対象	高校生以上の一般の方
●費用	参加費無料
●問い合わせ先	地域連携推進室





シティカレッジ

広島県内の大学や短期大学と教育ネットワーク中国、広島市、広島市文化財団が連携した学習機会です。大学などが持つ優れた研究・教育機能を皆さまに活かすことを目的に、本学も毎年テーマを変え開講しています。

●実施年	2003年～
●実施回数	14回参加（年1回）
●対象	高校生以上の一般の方
●費用	参加費無料
●問い合わせ先	公益財団法人広島市文化財団（ひと・まちネットワーク部管理課）

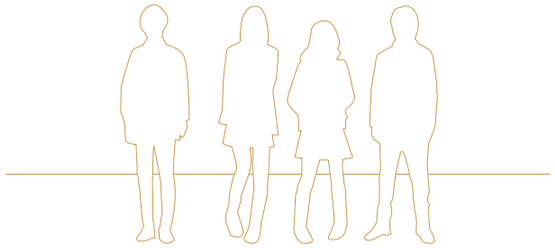




生徒·教員へ学びの場を提供。

高大連携

大学とはどんなところか、どのように学ぶかを広く知り、考えてもらう場を提供します。生徒のキャリア教育の一環として、大学見学を含めた講座等を行っています。また、小·中·高校の教員を対象としたセミナーも行っています。



大学とはどんなところ？なんのために学ぶ？
情報を公開し、学びをもっと身近に。



本学に高校生が来学し、大学内で体験授業を行います。実習を受けたり、実際に研究で使用される実験装置の見学などを行います。大学とはどのような場所なのかを知ることにおいて、重要な役割を担っています。

生徒や教員の向上心を応援するため、さまざまな学びの機会を設けています。

連携実績

高大連携

連携校の高校生を対象として、大学における高度な教育·研究に触れる機会を提供し、高校生の進路選択の支援を行っています。高校生の目的意識の醸成や学習意欲の向上、さらには高等学校でのキャリア教育の一助になることを目的としています。

●問い合わせ先	地域連携推進室

※参加希望の高等学校は本学と上記協定の連携校締結が必要。

連携の一例

ゼミ·インターンシップ

連携校の高校生を対象に、研究に対する動機づけとして、実際のゼミ活動に参加する機会を提供しています。

●実施回数	年1回実施
●対象	連携高校3校の高校生（原則3年生対象）
●費用	参加費無料



高大連携体験授業

連携校の高校生を対象に、大学、学科での学びの理解を目的として、高校生レベルの授業体験の機会を提供しています。

●実施回数	年1回実施
●対象	連携高校7校の高校生（原則2年生対象）
●費用	参加費無料



連携実績

中大連携

大学とはどのようなところであるか、また本学の学びとはどのようなものかを知ってもらう取組みを行っています。おもな対象者を中学生とし、大学の学びの説明や、その先の就職を意識してもらうことにより、自身の進路選択を考えるきっかけづくりをしています。

連携の一例

大学訪問

中学生のキャリア教育の一環として、大学での施設見学·体験を行うなかで、生徒自身の進路を考える力を養う機会を提供しています。

●実施回数	依頼により都度実施
●実施場所	広島工業大学
●対象	中学生
●費用	参加費無料
●問い合わせ先	地域連携推進室



工大高校オープンスクール

広島工業大学高等学校のオープンスクールにて、本学のブースを設置し、中学生、保護者を対象として大学の説明を行っています。

●実施回数	年2回実施
●実施場所	広島工業大学高等学校
●対象	中学生·保護者



連携実績

教員連携

小·中·高校の教員はつねに最新の情報を理解し、児童·生徒たちに教育する必要があります。広島工業大学は教員たちの学びの場を提供し、教育力の向上をサポートしたいと考えています。

連携の一例

情報基礎セミナー

情報教育および情報技術の動向を踏まえて、小·中·高校の教員に向けて行われるセミナー。近年は学校教育にICT（情報通信技術）を活用して、いかに効果的な授業を行うかが主なテーマ。最近多くの学校に導入された電子黒板や、今後教育課程に入ってくるプログラミングなども扱っています。

●実施回数	年1回実施
●実施場所	広島工業大学
●対象	小学校·中学校·高等学校の教員
●費用	参加費無料
●問い合わせ先	地域連携推進室



広島工業大学

建学の精神「教育は愛なり」、教育方針「常に神と共に歩み社会に奉仕する」の
二つの教育理念のもと、「社会に奉仕する」技術者の育成を目指します。



三宅の森 Nexus21 | 学内に点在してきた講義棟群に代わり、広島工業大学の新たな学びのステージとして誕生しました。

大学概要・大学院の概要

大学名称:広島工業大学
設置母体:学校法人 鶴学園
大学設立:1961年4月

所 在 地:広島市佐伯区三宅2丁目1-1
教 員 数:176名（2017年5月1日現在）
学部・大学院生数:4,627名（2017年5月1日現在）

学校法人 鶴学園　理事長:鶴　衛
広島工業大学　学長:鶴　衛

工学部

- 電子情報工学科
- 電気システム工学科
- 機械システム工学科
- 知能機械工学科
- 環境土木工学科
- 建築工学科

情報学部

- 情報工学科
- 知的情報システム学科

環境学部

- 建築デザイン学科
- 地球環境学科

生命学部

- 生体医工学科
- 食品生命科学科

大学院

- 工学系研究科(博士前期課程)
  ・電気電子工学専攻　・機械システム工学専攻　・建設工学専攻　・情報システム科学専攻　・環境学専攻　・生命機能工学専攻
- 工学系研究科(博士後期課程)
  ・知的機能科学専攻













建学の精神

「教育は愛なり」

鶴 虎太郎の教育精神を現したこの言葉を、建学の精神として定め継承してきました。学生、生徒を心から愛し、愛にもとづく教育をされ、愛を教育の本質とされた校祖の教育の精神を永遠の目標とし、その原点を見失わないよう、私たちは、これからも教育に取り組んでいきます。

教育方針

「常に神と共に歩み社会に奉仕する」

人格の完成をめざし、心身ともに健康にして己を制御し、「常に神と共に歩み社会に奉仕する」人間の育成が、鶴学園の教育方針です。さまざまな問題が山積し、教育の真価が問われようとしている今こそ、私たちは、この教育方針を堅持し、社会に貢献できる教育を展開していきます。

Campus Map



沿革

1956年　広島高等電波学校(各種学校)設置認可
1957年　学校法人鶴学園設置認可
1961年　広島工業短期大学開学
1963年　広島工業大学(工学部)開学
1965年　広島工業短期大学廃止認可
1989年　広島工業大学に大学院工学研究科修士課程を開設
1993年　広島工業大学に環境学部を増設
1996年　広島工業大学大学院・工学研究科に博士課程を増設
1997年　広島工業大学大学院に環境学研究科修士課程を増設
2006年　広島工業大学の2学部(工学部・環境学部)を
　　3学部(工学部・情報学部・環境学部)に改組
2008年　広島工業大学大学院の工学研究科と
　　環境学研究科を統合し、工学系研究科を設置
2009年　広島工業大学大学院の環境学研究科を廃止
2010年　広島工業大学大学院の工学研究科を廃止
2012年　広島工業大学に生命学部を増設

交通のご案内

お車でお越しの方

「廿日市」ICより車で約12分 ※学内駐車場あり

JR・私鉄でお越しの方

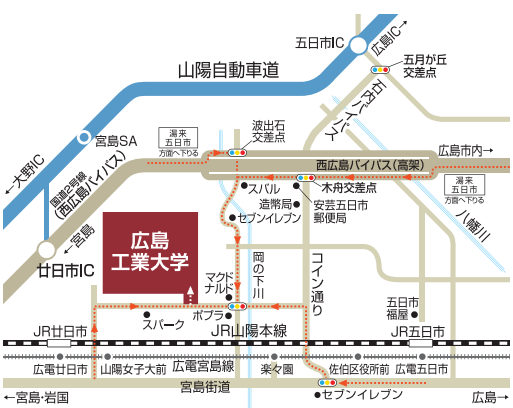
JR山陽本線「五日市」駅下車、広島電鉄宮島線に乗り換えて「楽々園」下車、徒歩15分
JR山陽本線「五日市」駅下車、タクシー乗車（約12分）
JR山陽本線「廿日市」駅下車、タクシー乗車（約10分）

バスでお越しの方

広電バス：五日市駅南口発「楽々園」経由「東観音台団地」「湯来温泉」方面行き、
「広島工大入口」下車、徒歩3分

船でお越しの方
（四国あるいは瀬戸内海方面から船を利用する場合）

広島港（宇品港）より広島電鉄「比治山下経由・広島駅」行き、
「広島」駅下車（約30分）、JR山陽本線下り（岩国方面）に乗り換えて「五日市」駅下車
※以降は上記「JR・私鉄」参照



学校法人 鶴学園
広島工業大学

〒731-5193 広島市佐伯区三宅2丁目1-1
TEL(082)921-4222 FAX(082)921-8963
E-mail:c-renkei@it-hiroshima.ac.jp
http://www.it-hiroshima.ac.jp/research/office/